作成日：２０２４年3月１日

| 学校長 |
|---|
| 印鑑省略 |

# ２０２３年度　エプソン情報科学専門学校　実行計画／実績自己評価

| 学校評価項目 | 【学校創立の原点】 | | 【 長期ビジョン 】 |
|---|---|---|---|
| ①学校の教育理念・目標 | 設立趣意書より抜粋<br>エプソン情報科学専門学校が全人的教育により、高度情報化社会をリードする中堅技術者の育成に傾注できるように努力していく覚悟である。<br><br>設置趣意書より抜粋<br>また、単に、技術的に優れた人材の育成だけでなく、教養科目の時間をできるだけ多くとり、心と技術の調和のとれた、全人的教育を目標とする。 | 教育理念とは<br>三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心<br>三共：共鳴、共感、共働(協働)の感性<br>三学：自学、究学、徹学の態度<br><br>教育方針とは<br>1. 通いあう心、信じあう心、ひたむきな心　の育成<br>1. 共鳴、共感、共働(協働)の感性　の育成<br>1. 自学、究学、徹学の態度　の育成 | 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくてはならない人材を育成し続ける<br><br>【中期基本方針(2021～2023】<br>1. セイコーエプソンと密接に連携して、最新の実務知識、技術、技能を身につけられる実践的な教育を目指す。<br>2. 学生募集を安定させ、永続的な学園経営の自立を目指す。 |

| 分担 | 学校評価・項目 | 推進項目 No. | | 到達目標(期待される成果) No. | | 実績 および 最終自己評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通 | ④学修成果 | 1 | 退学者の削減 | 1 | 目標：7%以下　チャレンジ目標：4%以下 | 退学率：5.3%(昨年度13名に対し、5名に減少) | ○ |
| | ⑧財務 | 2 | 経費削減・ムダの排除 | 1 | 予算目標の達成 | 経常収支実質差額 予算値 ：-2,948万円　実績：1,665万円 | ◎ |
| | ①学校の教育理念・目標 | 3 | 学校の理念・基本的方針の確立 | 1 | 基本的方針の策定と公表 | 学校ホームページ へ最新情報を定期更新 | ○ |
| | ②学校運営 | 4 | 学校評価の向上 | 1 | 前年度評価点以上を目指す | 前年度：自己評価平均　＝3.5P　今年度：自己評価平均値＝3．6P　＋0.1P<br>前年度：関係者評価平均＝3.7P　今年度：関係者評価平均＝3.8P　＋0．1P | ◎ |
| | ②学校運営⑥教育環境⑨法令等の遵守 | 5 | 遵法対応、安全衛生管理、学習環境含めた環境活動の強化 | 1 | 他校同等以上の学習機材を完備。<br>問題を発生させない。 | 学園監査人による監査にて重大案件無し。<br>学生の健康診断受診(6月)<br>学習環境改善では、昨年に引き続き10月学生、社会人訓練生用CAD-PC全台更新。<br>実習機材の更新中。 | ○ |
| 教務部 | ③教育活動 | 1 | 「5年後10年後に会社に なくてはならない人材」を目指した育成 | 1 | 追試験件数前年度(1.7件/人)以下、A評定率前年度(42.4%)以上 | 追試件数：昨年から減少(昨年1.7件/人⇒今年0.9件/人)という結果であった。毎年＆学科毎に状況は異なるが、成績下位の学生が放課後に残って学習していたため、追試が減少した。ミニテストの実施やミニテストの追試を行うなどして、より細かいフォローを継続実施した。A評定率：45.7% | ○ |
| | | | | 2 | グループワークを充実し目標達成に役立つ計画力と協調性を身に付けさせる<br>ロジカルシンキングの授業を情報システム科に加えて情報ビジネス科へも展開し、物事を論理的に伝える力を身に付けさせる | グループワークを取り入れた授業を昨年度から継続して実施した。システム開発での要件定義、Web基礎でのHP制作、ビジネス科のチームビルディング講座、電子機械科の仮想会社による製作など、グループで協力して成果物を作り発表することによって、コミュニケーション能力向上を図った。ロジカルシンキングの授業では引き続きディベートを取り入れた。一つの話題について、それぞれの立場で考えをまとめ発表しあった。 | ◎ |
| 教務部（学務） | ③教育活動 | 2 | 教える力の向上(どうやって身に付けさせるか) | 1 | 独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等に1つ以上取り組む<br>非常勤講師および自身の授業評価(授業評価アンケートや面談)による実践状況把握と改善 | 指導力向上に向けて、外部ON-LINEセミナー受講促進。セイコーエプソン主催eラーニング受講(情報セキュリティ、コンプライアンス)。資格試験合格(1件)。 | ○ |
| | | | | 2 | 常勤/非常勤、学科の枠を超えてお互いの授業を参観して授業方法に改善を加える<br>授業評価アンケートによる学生満足度を向上させる | 常勤二人や常勤と非常勤二人体制で授業を実施することにより学生へのフォローの充実と自身の授業運営の参考にすることができた。<br>下期全学生対象アンケート実施済。アンケートの結果を踏まえ来期カリキュラムに展開予定。 | ○ |
| | ⑤学生支援 | 1 | 学科、学年を越えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有 | 1 | スポーツ祭、三心祭の準備から実施に至るまで全学生が満足し、達成感を得られる | 5月上旬にスポーツ祭を岡谷体育館で行い、新入生同士が早い時期に学科を超えて仲間意識を醸成できた。また、10月上旬に三心祭を校舎内の教室で行った。学科別＆学年別に体験できる出し物を展示するとともに、全体でのイベントも実施して、親睦を深めた。 | ○ |
| | | | | 2 | 校則の重大違反なし<br>授業以外のイベントにおける遅刻・違反欠席者を減らす(1回平均1人以下) | 校則重大違反なし<br>各イベントにおける無断欠席は平均して2件未満。 | △ |
| | ④学修成果 | 2 | 学生の資格取得件数の向上 | 1 | 2年間で一人当たりの資格取得件数8件以上を達成する | 2年生の平均取得件数は10.5件/人。2年生は1名を除いて、在学中の資格取得目標件数4件を達成した。1年生の平均取得件数は5.6件/人 | ◎ |
| | | | | 2 | 10P以上の特別表彰を15名以上出す<br>特進クラスは全員が卒業までに10P以上取得させる | 30P以上2名、20P以上7名、10P以上12名<br>特進クラスは6/7名が10P以上獲得 | ◎ |
| 就職指導部 | ④学修成果<br>⑤学生支援 | 1 | 就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業・個人の能力を生かせる企業への就職支援 | 1 | 就職内定率95%以上を確保する | ・就職内定率：100%達成。(4年連続 100%達成)<br>就職内定内訳：正規雇用採用律：100%(6年連続 100%達成) | ○ |
| | | | | 2 | SEC入社率20%以上を確保する | ・SEG入社人数：12名(入社率24%)　昨年比△1名　(昨年 26%)<br>SEG入社率：2年連続　20%以上達成 | |
| | | | | 3 | 卒業生、企業へのヒアリング、およびカリキュラム・人材像について企業側の要望の聴取を行う(就職活動のためのアドバイス、実態業務と現カリキュラムの比較) | ・校内企業ガイダンスにおいて60社を招待予定(2/28, 3/4)。参加企業に対し要望などを懇談の中で聴取予定 | |
| 入試センター | ⑦学生の受け入れ状況 | 1 | 募集者数の拡大 | 1 | 募集者数の向上 | ・第一期入試～第三期延べ58名/61名。(昨年同期比+合格者20、受験者18名増)<br>・SEG入社人数：12名(入社率24%)　昨年比△1名　2%減。20%以上をkeep。 | ○ |
| | | | | 2 | イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上 | ・接触学生に対するハガキ誘導の施策実施。(802通のハガキ) | ○ |
| 事務局 | ⑧財務 | 1 | 経費削減 | 1 | 昨年度以上 | ・中部電力ミライズ施策への登録、参加により電気代金の減額ができた。(30万円/年)<br>・暖冬影響も味方、凍結防止電源時期順延ができた。年間費用492万円(昨年比△39万円) | ○ |
| | ①学校の教育理念・目標 | 2 | 学校の特色の周知 | 1 | 周知強化に向けた新たな取り組みを実施する | ・学校長による長野県内/外への高校訪問93校の実施。進路指導室への本校アピール実施。<br>・地域活動(諏訪理大とのアイディアソン実施、諏訪湖花火大会ボランティア参加) | ○ |